

1. 作業ディレクトリの構成方法

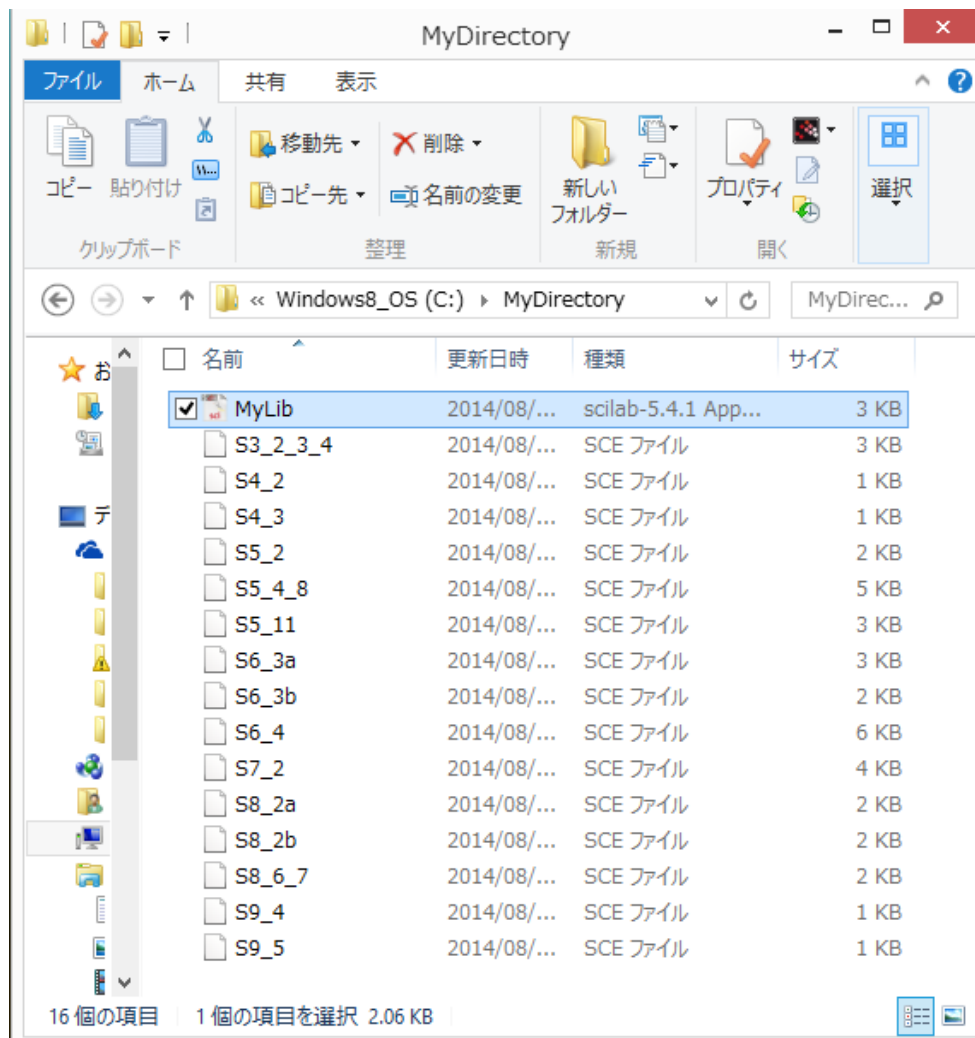
本ファイルが含まれている”MyDirectory”下の全参考プログラムのファイルを、読者の作業ディレクトリにコピーしてください。

一部のプログラム（主に 5 章）の先頭で下記の様に、

```
// C:\MyDirectory に複素表示ライブラリー"MyLib.sci"ある前提
cd C:\MyDirectory
exec('MyLib.sci', -1)
```

“MyLib”をロードしているので、そのプログラムを実行する場合は、以下のどちらかで対応してください。

- 1) 下記の様に”C:¥”の直下に置く。
- 2) 上記の “cd C:\MyDirectory” の分部に、使用予定としている作業ディレクトリのパス名を追加・変更する。



2. 参考プログラムファイル一覧

ファイル名と本書における記載場所の対応表です。

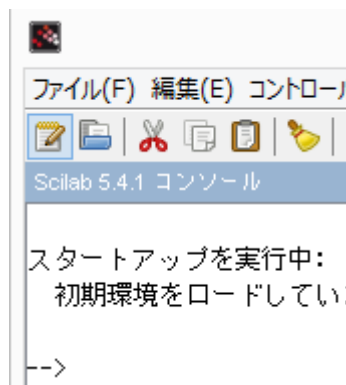
	Scilab ファイル名	対応する節
共通ファイル	MyLib	複素数表示ライブラリー
第 1 章	無し	
第 2 章	無し	
第 3 章	S3_2_3_4	2 節、3 節、4 節
第 4 章	S4_2	2 節
	S4_3	3 節
第 5 章	S5_2	2 節
	S5_4_8	4 節、5 節、6 節、7 節、8 節
	S5_11	11 節
第 6 章	S6_3a	3 節(前半 櫛型関数)
	S6_3b	3 節(後半 櫛型変調信号)
	S6_4	4 節
第 7 章	S7_2	2 節
第 8 章	S8_2a	2 節(1階微分)
	S8_2b	2 節(2階微分)
	S8_6_7	6 節、7 節
第 9 章	S9_4	4 節
	S9_5	5 節

[注意]

- ・ 一部、本文で割愛したプログラムも含んでいます。
- ・ コメント文は本文と多少異なります。
基本的にはコメント文による補足が強化されています。
- ・ 本文とプログラムが異なる場合は、こちらが正しいものとします。

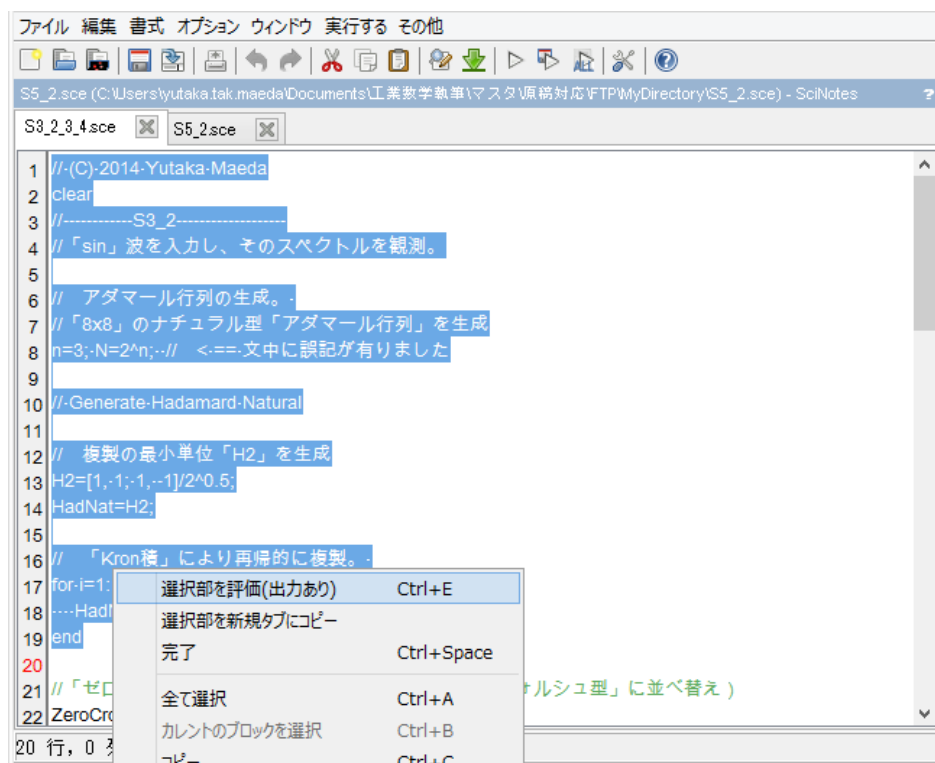
3. 実行方法

下記の様に Scilab を起動し SciNotes(左端のアイコン)を開きます。



SciNotes のファイルメニューより、上記一覧から確認した目的のプログラムファイルを開きます。

本文と対比しながら順次、分部実行する場合、以下の様に左クリックにより実行範囲を選択し、右クリックで“選択部の評価”か “ctrl+E” で実行します。



[注意]

- 必ず、先頭の行から初めてください。（重要な初期化等が含まれています）
- 一気に走らせたい場合は、ツールバーの▶ボタンを押して実行して下さい。

その場合は、コンソール上の演算結果表示は出力されません。グラフの出力のみとなりま

す。

- ・もし、実行結果のエコーバックが目障りな場合は、行末に”;"を付加してエコー出力を止めてください。

- ・作成および動作確認は Scilab 5.4.1+Windows 7(32Bit 版), Windows8.1(32Bit 版)で行っています。他の組み合わせは未確認です。Scilab は同一バージョンをご使用ください。

4. TIPS

1) 実行の途中、あるいは実行後に変数を確認する場合はコンソールに変数名を打ち込み改行すると、内容を表してくれます。その場で変数に“=”で代入し、処理を継続することもできます。

2) コンソールのツールメニュー“アプリケーション”→“変数ブラウザ”を起動すると有効になっている変数、行列の内容を確認・修正できます。

3) SciNotes で特定の行を右クリックし“カーソルまで評価”を使うと、分部実行が楽になります。

以上

著者 前田 裕